

# 事務事業評価(事前評価)シート【令和3年度】

主管課(担当名)	社会福祉課(福祉担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業	事業番号	12899

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-7	障がい福祉の充実
	施策目標	障がい福祉サービスが充実しているまち	

## 2 事務事業の目的

目的	障がい児・医療的ケア児等支援の一環として、北海道の補助制度を活用し、小児慢性特定疾病児童への日常生活用具給付制度を創設し、対象児童の日常生活の支援を行う。
成果	障害者総合支援法に基づく障がい者(児)日常生活用具給付事業の支給対象となる18歳未満の難病患者と、支給対象外となる小児慢性特定疾病児童との制度間の不均衡を解消する。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R1							
	R2							
	R3							
	R4							
	R5							
R3	小児慢性特定疾病医療費受給者証の交付を受けている児童に、日常生活用具の給付を行う。							
R4	同上							
R5	同上							
事業費と内訳	(単位:千円)		R1	R2	R3	R4	R5	総事業費
	事業費				664	664	664	1,992
	内訳	国庫支出金						
		道支出金			332	332	332	996
		地方債						
		その他			332	332	332	996
		一般財源						
	人員(人工)				0.3	0.3	0.3	0.90
職員費(人員×7,704千円)				2,311	2,311	2,311	6,934	
総事業費				2,975	2,975	2,975	8,926	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R2)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	小児慢性特定疾病児童日常生活用具の延べ給付数	0件	-	7件

事務事業改善策  
(継続事業のみ記入)

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	障害者総合支援法に基づく障がい者(児)日常生活用具給付事業の支給対象となる18歳未満の難病患者と、支給対象外となる小児慢性特定疾病児童との制度間の不均衡を解消する。
-------------------	--

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 小児慢性特定疾病児童への日常生活用具給付事業であり、ニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 国の定める実施要綱で事業の実施主体は市町村と定まっている。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 小児慢性特定疾病児童より日常生活用具の給付を求められた際に、給付のできる環境を整備する必要がある。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 国の定める実施要綱に基づく事業であり、適切であると考える。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 障害者総合支援法に基づく障がい者(児)日常生活用具給付事業の支給対象となる18歳未満の難病患者と、支給対象外となる小児慢性特定疾病児童との制度間の不均衡が解消され、公平性が高まる。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 小児慢性特定疾病児童に日常生活用具の給付を行うことができるようになり、事業の有効性は高いと考える。

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業を推進し、給付対象者が適切に給付を受けられるよう制度周知を図るとともに、総合的な福祉サービスの提供体制の充実に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 速やかに事業を推進するとともに、制度周知を図り総合的な福祉サービスの提供体制の充実に努める。

作成年月 令和3年7月

# 事務事業評価(事前評価)シート【令和3年度】

<b>主管課(担当名)</b>	社会福祉課(福祉担当)	<b>事業区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
<b>事務事業名</b>	子育て環境整備事業(児童デイ)	<b>事業番号</b>	12900

## 1 施策体系

<b>施策体系との関連</b>	<b>施策区分</b>	1-7	障がい福祉の充実
	<b>施策目標</b>	障がい福祉サービスが充実しているまち	

## 2 事務事業の目的

<b>目的</b>	備品の老朽化により更新が必要な備品を購入し、良好な療育環境の整備を図る。
<b>成果</b>	使用に耐えられなくなりつつある備品の整備を行うことにより、児童が安心して療育を受けることができる療育環境を確保できる。
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
<b>事務区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R1	老朽化した備品の更新整備を行う。						
	R2							
	R3							
	R4							
	R5							
(単位:千円)		R1	R2	R3	R4	R5	総事業費	
事業費と内訳	事業費			1,437	-	-	1,437	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源			1,437			1,437
	人員(人工)			0.10			0.10	
職員費(人員×7,704千円)			770			770		
総事業費			2,207			2,207		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R2)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	適正に管理する児童デイサービスセンター数	1施設	-	1施設
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	使用に耐えられなくなりつつある備品の整備を行うことにより、児童が安心して療育を受けることができる療育環境が確保される。
-------------------	---

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない</p> <p>整備する備品は療育に必要なものであり、充実した環境の中で児童が安心して療育を受けることができるよう整備に関する強い要望がある。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である</p> <p>設置者としての責務であるため、市が実施主体となる。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない</p> <p>安心安全な療育環境のため、整備は早期の対応が望まれている。</p>
エ. 手段の適切性	<p>■適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある</p> <p>施設の維持管理は設置者である市の責務であり、療育環境を整備することは適切である。</p>
オ. 事業の公平性	<p>■公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある</p> <p>ノーマライゼーション理念に照らし公平性があると考える。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない</p> <p>療育環境の整備を図る上で有効性は高いと考える。</p>

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【速やかに実施】</p> <p>速やかに事業推進を図り、児童が安心して療育を受けることができる環境整備に努められたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する</p> <p>速やかに事業推進を図り、児童が安心して療育を受けることができる環境整備に努める。</p>

作成年月

令和3年7月